

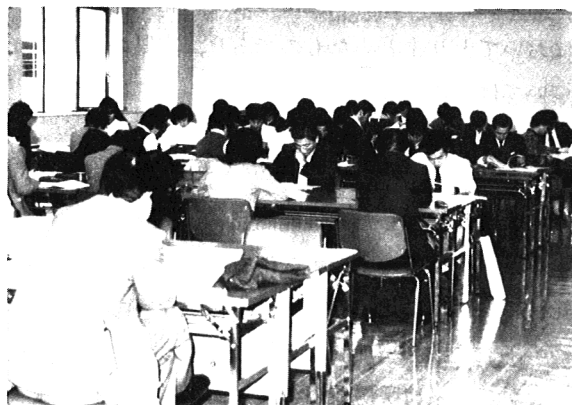
国勢調査いよいよ大詰

季節は初冬の気配を漂わせ、正に清澄。県庁前の銀杏も見事です。うってかわって、ここ水戸市にある大町ビルでは連日膨大な調査書類を相手に立ち働く職員の姿があります。ご存知のように、10月1日を調査期日として行われた国勢調査の調査関係書類が、世帯をはじめ関係者の方々のご協力により無事回収され、市町村の審査を経て現在県での審査が進められています。

あらためて述べる機会もあるかと思いますが、これら調査関係書類の提出の裏側には、文字どおり血と汗の逸話があります。

住民の方々はもちろん、ひたすら調査の円滑な実施を念じ幾多の困難に対しても精力的にご努力いただきました調査員、指導員、市町村職員、

その他いろいろと援助をいただきました関係者の方々にあらためてお礼申し上げる次第です。



県審査会場

(統計課・人口労働グループ)

昭和60年工業統計調査のお知らせ

工業統計調査は明治42年に始められた伝統ある調査で、「製造業」(日本標準産業分類-F)に属する事業所(国及び公共企業体に属する事業所を除く。)を対象として、毎年12月31日現在で、事業所数、従業者数、製造品出荷額、原材料使用額などを調査し、工業の実態を明らかにすることを目的としており、指定統計第10号になっています。60年調査は2年ぶりに全数調査となり、製造業に属するすべての事業所が対象となります。また記入者の負担を軽くするため丙調査は当分の間廃止し、調査票も一部簡素化されました。これらの結果については、地方自治体や国の総合開発計画や地域開発計画さらに中小企業対策の立案等さまざまな計画や施策の基礎資料として広い分野で活用され、住みよい日本を築くために役立っています。

年末年始の忙しい時期の調査でございますが、調査の主旨を良くご理解いただき関係各位のご協力をお願いいたします。

工業統計調査の主要項目(従業者4人以上)

区 分	59年	58年	増減数	増加率 59/58 (%)
事業所数(所)	9,067	9,455	△388	△4.1
従業者数(人)	291,554	285,014	6,540	2.3
製造品出荷額等(億円)	79,892	71,616	8,276	11.6
実質出荷額(億円)	79,396	71,206	8,190	11.5
付加価値額(従業者数30人以上)+粗付加価値額(従業者数4~29人)(億円)	24,751	21,301	3,450	16.2
有形固定資産投資総額(億円)(従業者数30人以上の事業所)	4,154	3,910	244	6.2

(昭和59年工業統計調査結果速報による)

(統計課・商工グループ)